



広報

なまじん

1991年

2月

No. 183

村章

毎月1日発行



「ふれあい少年の翼」一行が酒田市訪問

ふるさと創生事業の一環として「第一回今帰仁村ふれあい少年の翼」一行が、山形県酒田市を訪問した。

十二月二十四日から二十八日にかけて、上間博安村長を先頭に小学生三二名、中学生五名、高校生五名、引率者八名の総勢五一名が参加。

この度の訪問は二十一世紀を目前に控え、青少年の健全育成と次代を担う人材の育成に資することを目的としたもの。

今帰仁村と酒田市は、これまで十三年にわたり「リゾート大学沖縄酒田村」をとおし親睦を深めてきた。「少年の翼」一行は、酒田市の子供達との交流会や市主催の歓迎会で暖かいもてなしを受けた。

参加した児童・生徒は、生活習慣や文化の異なった地域を自分の目で見て、体験することにより多くのことを学んだ。

今帰仁村の人口

平成2年12月31日現在

| 男 | 女 | 世帯数 |
|-------|-------|-------|
| 4,799 | 4,887 | 3,054 |
| (+3) | (+14) | (+1) |

村の人口 9,686(+17)

教育立村をめざし 学力向上対策研究発表会

★沖縄県の教育の最大の課題「児童、生徒の学力向上」をめざし今帰仁村に★
★おいても、平成元年から三年間、県教育委員会の指定を受け、学力向上対策★
★策を推進している。

★「基礎学力向上推進地域」第二年度の研究発表が、平成二年十二月十五日★
★開催された。今帰仁小学校と今帰仁中学校で公開授業が、コミュニティ★
★センターで全体会が行われた。

★学校、家庭、地域、行政が連携を密に学力向上に取り組み中、越地PTA★
★の上間悦子さんは、母親の立場から発表した。ここで内容を紹介します。★



上間悦子さん

「ウヤヌイェシクトウヤチムニ スミリ」誰もが耳にしたことのある沖縄の教訓歌の一節である。二十一世紀を担う子供達がより望ましい社会人として育っていくことは、すべての親の願いです。子供達の学校における学習問題は、親である者の共通の関心事ではないでしょうか。ここでは、私が日頃考えていることをのべてみたいと思います。一つに、学校と家庭の役割を区別して考えています。家庭は

人間の共同生活の基本の場としてとらえています。

子供達三人に毎日の家事分担として、長女（琉球大学二年）で中学時代（洗濯物の片付け）

次女（高三）で中学時代は（床上げ、トイレ掃除）、長男（小六）は（買い物）、一人一人が

与えられた仕事に責任を持ち、更に工夫して出来るように心がけています。例えば、洗濯物を

使う人の立場に立って整頓する。また、家庭訪問のとき、自分の

先生のために、学校からかけ足で帰ってきてトイレの掃除を自分

分です。先生を迎えるなど、見えない所での心づかいや、工

夫することが他の人に対して思いやりの心を持つことにつなが

ると思っています。家事分担を

果たすことによって、学校での集団生活をスムーズに運べるのではないかと考えています。次に「親は教師にならない」ということです。それはなぜかといいますと、子供にとって「授業が教室でのたった一度の学習のチャンスであり、二度と耳に



今帰仁中学の公開授業

することが出来ないもの」として真剣に取り組みことが出来たら、先生もプロとしての力が発揮されると思うからです。

先生とどのように接しているかといいますと、家庭では、常に学校での出来事を心を聞いて真剣に耳を傾け、聞いてあげることにはしています。

以前、息子が「お母さんにだけ内緒だよ」と国語のテストで二十点

とったことを話してくれた。「どうしたの」と聞くと「先生のお話を真剣に聞いたけど、だんだん解らなくなった」ということである。「次はどうしたいの」と聞くと「僕は、次は絶対頑張りたい」という返事である。「次に頑張る気持ちのある人は必ずやれる」と声をかけてやりました。

試験の点数でわが子を評価するのか、次の頑張りの気持ちを認めてあげるのか、「あなたならできる」という信頼されているという気持ちの子供の心に伝われば必ず自分の事として、真剣にとらえることが出来ると思います。

このように子供達に母として



質問に元気よく答え活発に行われた今帰仁小学校の公開授業

今してやれる事は、その子の出来ることをいっぱいみつけたし学習を自分の事としてとらえさせ「あせらずに待つてあげる」と。また、教師とのつながりを絶対的なものにするため、親が教師を信頼して任せる。そのことを大切に、任せた事については、ゆっくりではあっても自分のためにもがき、自覚を持って学習することができたなら、やり通す心がいつか、生きぬく力となって現われてくると思えます。子供達が巣立つ日まで見守っていききたいと思います。

「ウヤヌイェシクトウヤチムニ スミリ」親の言葉が本当のものとして子供の心に染まってほしいものです。

湧川小中学校PTA 九州ブロック研究大会で 表彰

五カ字の区長さんかわる

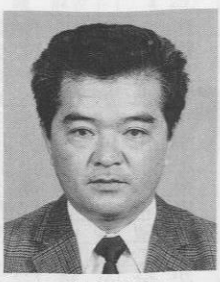
一月一日付で市内の五カ字で区長の交替が行われました。

諸志では与那嶺庄市さんから嶋袋正雄さん（諸志一三三、電話五六二二三二六）に、与那嶺では与那嶺富夫さんから与那嶺義己さん（与那嶺一一一、電話五六二五一一四）に、平敷では石嶺常雄さんから島栄徳さん（平敷一二二二、電話五六二三四五）に、天底では西平守福さんから与那栄康さん（天底一六二、電話五六二二六〇五）に、古宇利では小波津忍さんから照屋林一さん（古宇利九二八、電話五六二四二五）にそれぞれかわ



このほど第三十五回九州ブロックPTA研究大会が熊本市で開催された。一育てよう心豊かなたくましい子どもをスロー

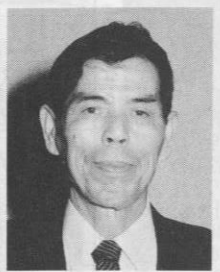
りました。長い間頑張ってこられました区長ご苦労様でした。また、新区長に皆様のご協力をお願いします。



諸志区長 嶋袋正雄さん



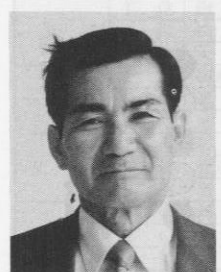
与那嶺区長 与那嶺義己さん



平敷区長 島 栄徳さん



天底区長 与那栄康さん



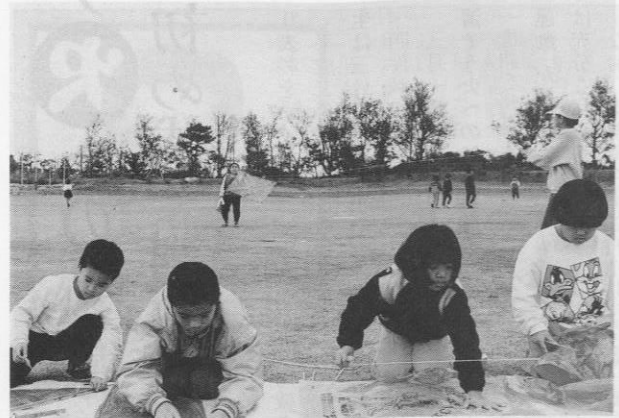
古宇利区長 照屋林一さん

ガンに行われた大会で湧川小中学校PTA（嘉陽宗敬会長）が団体表彰を受けた。これは、児童、生徒の学習やスポーツ、人格形成の環境づくりに尽くした実績が高く評価されたもの。十二月二十六日午後六時受賞祝賀会が区民、教育関係者約百二十人の出席をえて行われた。席上、嘉陽PTA会長は「今回の受賞は、学校創立時の後援会活動の頃からPTAを支えていただいた区民や学校職員の皆様方の協力、努力の賜であります。これから全国大会表彰、文部大臣表彰をめざして頑張っていくたい」と抱負を述べた。



大空高く天 新春たこあげ大会

「第二回新春たこあげ大会」が、一月十三日総合運動公園であいにくの雲り空にもかかわらず、下は一才から上は六十代までの老若男女約二十名が参加して行われた。まず始めに、講師の比嘉良行さん（ボーイスカウト指導者、名護市在）と三輪茂穂さん（仲宗根ナザレン教会牧師）によって、たこあげに関する説明を受けた。



ぼくのはちゃんとあがるかな、真険にたこづくりに取り組む子供達

お母さんやお兄さんと一緒に参加した庄子愛ちゃん（五才）は、大空高くあがっていたたこが地上に落ちると「たこはいまおひるねなの。すこしやすむとまたげんきよくあがるよ」と笑顔で話してくれた。教育委員会の玉城光盛さん（公民館主事）は、たこあげ大会について、「親子のふれあいや世代間交流を推進する場として、今後も継続して実施したい」と語っていた。

成人式

169人が大人の仲間入り めざせ創造性豊かな国際人

▶講演する千葉仁先生



独立した社会人として、責任ある行動をとり、努力と強い意志で無限の可能性を切り開いていこうとする若者の門出を祝い励まそうと、恒例の成人式が一月四日午後一時三〇分からコミユニティセンターで行われた。あてやかな振り袖姿や新調したスーツ姿の若者で会場は華やいだ雰囲気包まれた。

今年成人を迎えたのは、昭和四十五年一月十六日から四十六年一月十五日までに生まれた一六九人(男八六六、女八三三)。

なお、全国では、約百九三十六千人が社会人として新たな人生をスタートした。

式は村歌斉唱で始まり、西島一将教育長の式辞に続き、あいさつに立った上間博安村長は「法律的にも社会の一員として、貴重な権利と義務が与えられますが同時にまた、独立した個人として、社会に対し、責任ある行動が期待されます。国際的感覚や創造性豊かな教養を身につけ、希望と活力に満ちた二十一世紀を築きあげる主体的形成者になることを望みます」と激励した。

これに答え、成人者を代表して小浜ルミ子さん(天底一五六)は「今日は私たちにとって厳粛な人生の0からスタートを踏み出す日であります。私たちを本の木にたとえると今は種子の段階であり、華やかな花を咲かすよう努力し、よりよき社会、よりよき文化国家の建設に努力することを誓います」と謝辞を述べた。

また、嘉陽宗武選挙管理委員会委員長あいさつに続き、米實として山城正議会議長、大城秀昭県議会議員、城間肇青年団協議会会長もそれぞれ激励の言葉をおくった。

その後、世界剣道大会や全日本剣道選手権大会で優勝した日本の剣道界の第一人者、千葉仁先生(警視庁剣道部師範)による「私と剣道」と題した記念講演が行われた。

今年成人を迎えられた皆さんが、自分の才能を信じ、目標を持ちさまざまな困難にあってもその目標に向かって前進していったほしいものです。



▲振り袖姿もあでやかに169人が成人式を迎えた。



◀謝辞を述べる小浜ルミ子さん



▲青年よ目標にむかってガンバレ!



▲夢と希望に満ちあふれる今帰仁乙女

少年の翼 酒田に翔ぶ

21世紀のリーダー 育成に大きな成果

「第一回今帰仁村ふれあい少年の翼」二行は、夜も明けぬ六時十五分に今帰仁を出発し、山形空港に到着すると、この時期に

四、五年も降ったことがないという雪の歓迎を受けた。羽黒国民休暇村までの道のり、バスから見る雪景色は感無量であった。翌日のスキー教室では、酒田市のスキー指導員七人の指導のもと、時には吹雪の中、寒さや疲れも忘れ滑り続けた。午後からはリフトに乗り、傾斜のある

丘へ移動し、こわごわ滑る子供二、三回リフトに乗り楽しく滑る子供、それぞれスキーの楽しさを味わった。

二日目は、午前中市内の観光地巡り、一番印象にのこったのは、白鳥三千羽、カモ二万羽が泳いでいる「最上川」であった。午後からは、酒田市立松原小学校の金管バンドクラブと北前太鼓クラブとの交歓会。北前太鼓クラブの力強い音と真剣な子供達の演技は大変すばらしかった。こちらは「エイサー」の練習成果を十分に発揮し、すばらしい沖繩の持ち味を披露してくれた。また、「安里屋ユンタ」は会場全員の参加を得て楽しく踊った。

四日目は、新幹線を初めて体験し、東京では、年末の雑踏の

中で、地下鉄の切符を買い、上野の「アメ横」まで買い物に出かける都市生活の一端にふれた。参加者は、生活環境の違いや

雪、冬の寒さを体験し、今後、学校や地域でこの体験を生かきつと村の良きリーダーに成長していくことでしょう。



米博物館のある山居倉庫で説明を受ける



松尾芭蕉も立ち寄った最上川のほとりで全員集合



新幹線の旅も初体験

謝名・平敷のサーターヤー(製糖工場)

サーターヤー、つまり砂糖を製造する工場のことである。砂糖キビは今帰仁村の基幹作物であり、村内の至る所に砂糖キビ畑があり目につく。ちょうど、今は砂糖キビの刈り入れ時期である。

昭和三四年までは、各地にあったサーターヤーは、北部製糖工場に接収され姿を消してしまいった。戦前、各字にいくつかのサーターヤーがあり、牛に引かして石車や鉄車で圧搾する原始的な工場であった。石車や鉄車は今でもいくつもあり、また、謝名にはアガリムエーターヤー(東の模合砂糖工場)やイリムエーターヤー(西の模合砂糖工場)やサーターヤーアジマーなどの地名が残り、かつて砂糖工場があった名残りをとどめている。

昭和十三年の今帰仁村の製糖工場の設置状況は、在来法(家畜による圧搾七一)と水力(一)を合せて七十二件であった。また、改良法と呼ばれた石油発動機など機械による圧搾工場が十一軒あった。



▲謝名の頭原にあった製糖工場(昭和25年以降)



▲平敷のウンビ入口にあった製糖工場(昭和34年)

戦後の今帰仁村での製糖工場(サーターヤー)の設立第一号は、湧川善三郎氏名義の「合資会社 三和興産」で、戦後の製糖工場の許可第一号である。その工場は、今帰仁村字謝名の小字頭原に建設された。昭和二二年のことである。柱や壁板などは、乙羽山から切り出した松材を利用したものであった。

謝名にあったサーターヤーは木造平屋建ての天幕葺きの圧搾機室(二十坪)と窯場(三十坪)、それに翌二三年にトタン葺きの精米所(十七・五坪)を併設した。一日に十五丁と二十五丁の砂糖製造能力をもつ窯が二列あった。その当時は、原料となる砂糖キビが少なかったため、精米や刻み煙草、それに澱粉・製

粉機などの設備も備えていたが、すべてがうまくいくものではなかった(じやな誌)。

昭和二五年後に木造平屋建ての瓦葺に改造し、機械も三十トン級に切り替えた。写真はその建物である。

サーターヤーという思い出されるのは、あのなんとも云えないサーターの香りとサーターナンチチの味である。砂糖キビ畑からサーターヤーへの搬入は、馬車に積んでであった。馬車の後から砂糖キビを引き抜いてよ

くかじったものである。北部製糖工場ができた間もないころまで馬に馬車を引かせて搬入していた。その後、トラックとなっていた。

下の写真は、昭和三四年にウンビ入口にあった平敷と越地共同の製糖工場での記念撮影である。瓦屋根の建物で左手にエン

トツがかすかにみえる。

戦後、間もない頃は平敷も謝名にあった「三和興産」の製糖工場へ砂糖キビを搬入していたが、組合員の出資でウンビ入口に砂糖工場を設立した。その後、昭和三四年に北部製糖工場に接収されてしまった。

写真後方左から大城千和(平敷)、大城武生(平敷)、島袋徳吉(平敷)、仲里正吉(平敷)、岸本本秀(呉我山)、石嶺光永(平敷)、宮里政全(越地)、大城博弘(平敷)、玉城真常(越地)、中列左から仲村精助(平敷)、比嘉清雄(越地)、当山清紀(平敷)、前田義一(越地)、宮里政仁(越地)、前列左から与那嶺幸次郎(平敷)、大城重助(平敷)、仲里金正(平敷)、松田辰盛(越地)、大城幸助(越地)、大城甚正(平敷)、仲原英光(平敷)、玉城真幸(越地)、大城忠藏(平敷)、大城嘉英(平敷)の組合員の姿がみえる。

仲原弘哲(歴史資料館準備室)

大きなプレゼント 兼次中にマイクロバス 新城克巳さんが 寄贈

この度、兼次中学校にマイクロバスの寄贈があった。贈ってくださったのは、大阪市西成区でネジやナットなどの部品を製造する(株)新城製作所の経営者、新城克巳さんである。

新城さんは今泊の出身で、これまでも後輩の育成の手助けをしたと物心両面にわたり尽力されている方です。

兼次中学校では、これまでクラブ活動や中央大会参加の送迎に苦慮していた所へ念願のマイクロバスの寄贈で活動の範囲が広がり、生徒や先生方をはじめ父兄に大変喜ばれている。

生徒会長の上間俊二くんは「大きな大きなプレゼントに学校中が喜びにわいています。贈って下さった新城克巳さんの心暖まるご行為をひとりひとりがしっかりと心にとめ、これからの学校生活をますます充実させていきたい」と感謝の気持ちを語った。



新城さんご夫妻とマイクロバスの前で

タックス コーナー

税について 考えてみませんか

No.8

今 年も確定申告(所得申告)を行なう頃となりました。二月六日からは、申告書の受け付けが開始されます。

確 定申告(所得申告)は、一年間の所得金額、税額を算出し、確定する手続きです。つまり一年間の所得金額を計算し負担能力に応じて税額を算出するのです。

し かし、所得申告は、それだけのことにとどまらず、みなさんの生活全般にわたり深くかかわっています。例えば、国民健康保険税の所得割額は、所得に応じた額となり、高額医療費の負担額も所得に応じて異なります。また、福祉、行政、金融などの機関から受けられる各種サービス(例えば保育所入所、村営住宅入居、資金借入れ等)については、所得証明や課税証明等が必要とされるものが多く、やはり所得申告をしておくことが必要です。

さ て、所得を申告していただく際に気をつけていただきたいのは、申告した所得金額と生活費等を比較した場合に、所得金額が妥当であるかを考慮してほしいということです。

納 税相談につきましては、今月上旬より開始いたします。御気軽に御相談ください。

所得申告をお忘れなく 村・県民税申告日程

| 字名 | 月日 | 曜日 | 時間 |
|-----|---------|-----|----------------|
| 今泊 | 2月6日・7日 | 水・木 | 9:30 16:00 |
| 兼次 | 12日 | 火 | |
| 諸志 | 12日 | 火 | |
| 与那嶺 | 13日 | 水 | |
| 仲尾次 | 13日 | 水 | |
| 崎山 | 14日 | 木 | |
| 平敷 | 14日 | 木 | |
| 越地 | 18日 | 月 | |
| 謝名 | 18日 | 月 | |
| 仲宗根 | 19日・20日 | 火・水 | |
| 玉城 | 21日 | 木 | |
| 呉我山 | 21日 | 木 | |
| 湧川 | 25日・26日 | 月・火 | |
| 天底 | 22日 | 金 | |
| 勢理客 | 22日 | 金 | |
| 渡喜仁 | 27日 | 水 | |
| 上運天 | 27日 | 水 | |
| 運天 | 28日 | 木 | |
| 古宇利 | 28日 | 木 | 10:00 16:00 |

納税は良い村づくりの第一歩

所 得申告は、たんに税額を確定するための

自動車税を納めてない

あなたへ!

差押予告

ただいま、自動車税の滞納整理強化月間中、最寄りの銀行、農協、信用金庫等へ納めて下さい。 沖縄県

お知らせ

村営住宅 勢理客 第二団地 入居者募集

3月完成

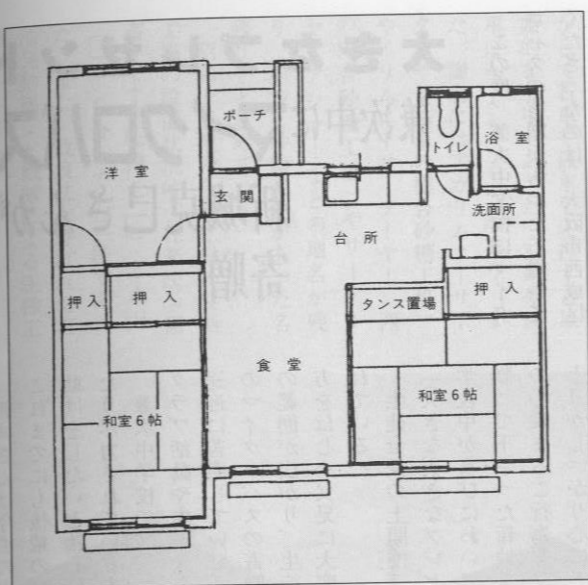
村では、村民の健康で文化的な生活の向上を図る目的で、村営住宅建設を推進しております。今年度は、字勢理客地内に平成三年四月一日入居を目ざして勢理客第二団地を建築中であり、募集します。

申込方法

(1)受付期間
平成三年二月十八日(月)から二月二十三日(土)までの間、村役場総務課で受付けています。
期間中午前九時から午後五時まで受付けます。

入居資格

- 1) 現に同居し、又は、同居予定の親族(婚姻届を出していないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者、その他の婚姻の予約者を含む)があること。
- 2) 月収額(同居親族の合算した所得)が次に定められた基準以下であること。入居者同居親族の過去一年間における所得金額の合計から定められた金額を控除した額を十二で除した額が十万円以下であること。
- 3) 現に住宅に困窮していることが明らかでないこと。



勢理客第二団地平面図
なにかと便利な平屋で人気集中している。

選考方法

(1)書類審査及び実態調査を行い募集戸数を超える場合は申し込み者を集めて抽選を行う。

募集戸数

六戸
あき家入居候補者募集

受付は、二月十八日からとし定員に満たない場合は、随時受け付けます。

募集戸数

提出書類、入居資格は、勢理客第二団地の募集要領と同じです。ただし、あきや入居候補者の資格の有効期限は、一年です。一年以内にあきやがない場合は無効になります。

兼次団地(一戸)今帰仁(平敷) 団地(二戸)勢理客団地(一戸)天底団地(二戸)湧川団地(一戸)与那嶺団地(一戸)。

※村営団地のことについての詳しいことは村役場総務課にお問い合わせ下さい。

電話五六二二〇一

松田幸福氏に 勲五等雙光旭日章叙勲



恒例の秋の叙勲が去る十一月三日発表され十二月七日県庁で伝達式が行われました。村内から松田幸福氏(七十四歳、仲宗)が叙勲されました。また同氏は、今帰仁村社会福祉協議会会長として現在も活躍されています。

根(一八八)が勲五等雙光旭日章を受章されました。松田幸福氏は、農林省茨城県内原訓練所修了後、村農会技手、県甘藷類検査員、村役所産業課長、北部農業改良普及所普及員などを歴任。昭和四十三年八月二十三日、第十五代今帰仁村長に就任し、五期連続当選、今帰仁村の産業、福祉、教育、文化の振興発展に大きく貢献されました。

メイン・ドロー 道選手権に62人出場



村体育協会主催による第六回今帰仁村少年剣道大会が去る十二月二十二日午後二時から今帰仁小学校体育館で行われた。当日は小学生四八八人、中学生十四人の剣士が出場。小学生の四級、五・六級、七級、八級、十級の各部と中学生による男子の部、女子の部で日頃の練習の成果を競った。熱戦の結果、それぞれの部門の優勝、準優勝は次のとおり決った。

四級の部
○優勝―山ノ川勝裕(天底小)

七級の部
○優勝―津山嘉都真(兼次小)
五・六級の部
○優勝―謝花隆太(天底小)
○準優勝―富平賢也(天底小)

八級の部
○優勝―山内大奨(兼次小)
○準優勝―大城貞仁(今帰仁小)

十級の部
○優勝―内間祐介(兼次小)
○準優勝―新里まどか(兼次小)
中学校男子の部
○優勝―澤岬盛也(湧川中)
○準優勝―内間直哉(兼次小)
中学校女子の部
○優勝―屋嘉比アンナ(今帰仁中)
○準優勝―大城奈津樹(今帰仁中)

小学生ホッケー大会 ●兼次小が男女優勝●



第七回今帰仁村ホッケー大会が、年の瀬の十二月二十九日午前九時より総合運動公園ホッケー場で行われた。

大会は、ホッケーをとおし、子供たちの健康づくりと競技力の向上を図ろうというもの。男子八チーム、女子七チームが参加し、応援団の声援と合わせて盛り上がりみせた。

また、開会式では、主催者の大城勝村体育協会会長が「沖縄県代表として先輩につづいて、国民体育大会や県外の大会で活躍できるようにこの大会を機会により一層練習に励んでください。私たちが物心両面の援助を今後も行なっていきたいと思っております」と選手を激励。次いで、新城恵選手による力強い選手宣誓で大会の幕があげた。

開会式に続き午前九時三〇分から次々と熱戦が展開された。特に決勝戦では、男子が〇対〇で迎えた十五分すぎ(試合時間二〇分)新城順也選手のシュートがみごとに決まり、兼次小学校Aチームが優勝。女子は対戦で時間切れとなり、二回の延長戦の末、ベナルティストロークで江中美奈選手のリターンが転がらず、直接ゴールにシュートするすばらしいプレーで兼次小学校Bチームが優勝を飾った。

初優勝

謝名・越地

第32回 村青年駅伝大会

スポーツ精神の高揚を図り、交流親睦を深め、組織強化をめざそうという村青年団協議会(城間肇会長)主催の第二十三回今帰仁村青年駅伝大会が一月六日午前十時から行われた。コースは、役場前―湧川我部井バス停前折り返し―今帰仁城跡入口バス停前折り返し―役場前までの九区間一・七キロメートルで前回優勝の湧川をはじめ七チームによって競われた。

一区は各チームともエース級の選手を配置。兼次・諸志の山城嘉選手がわずか十センチメートルの差で一位にたち、謝名・越地、湧川の順位で二区にたすきが渡った。二区、三区で謝名・越地が先頭になったが、今帰仁漁業協同組合が奮闘、四区から七区までトップを堅持。八区で越地・謝名が再逆転。最終走者の吉嶺真選手が区間賞の力走をみせ、一時間一四分二秒で初優勝の栄冠に輝いた。準優勝は二分二五秒差で今帰仁漁業協同組合、三位に湧川が入った。なお、謝名、越地は九区中五区に区間賞を獲得し、優勝に花をそえた。



謝名・越地念願の初優勝

2月

如月



●村民カレンダー

1991年

Calendar table with columns for date (e.g., 2/1 金), day of the week (e.g., 土), and event details (e.g., 入札参加指名願い受付, 少年少女ミニバスケットボール大会).

はしいものです。
国際社会に対応できる能力を身につけ、視野の広い人に成長して

は どうしたらいいか、さまざまな分野で具体的な研究が進められていて。村学力向上対策委員

